

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月2日

上場取引所 JQ

上場会社名 日本ライフライン株式会社
 コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 鈴木 啓介
 (氏名) 政次 浩二

TEL 03-6711-5200

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	14,217	—	276	—	548	—	156	—
20年3月期第3四半期	15,047	12.8	474	△30.8	686	△36.2	411	△24.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	14.48	—
20年3月期第3四半期	37.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	20,619	13,853	67.2	1,282.44
20年3月期	21,822	13,971	64.0	1,291.15

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 13,853百万円 20年3月期 13,971百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	25.00	25.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,693	△0.7	453	48.3	567	△4.0	219	△7.1	20.32

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他 をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他 をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	11,302,497株	20年3月期	11,302,497株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	500,250株	20年3月期	481,350株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	10,803,577株	20年3月期第3四半期	10,872,909株

当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い、四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

(1) 売上高について

当第3四半期累計期間におきましては、当社の主力商品である心臓ペースメーカにおいて新商品を発売したことから売上数量が増加した他、自社製造製品であるEP（電気生理用）カテーテルやアブレーションカテーテル、また、オンリーワン商品である心房中隔欠損閉鎖器具が好調に推移いたしました。一方で、昨年4月に、当社が取り扱っているほぼ全商品において、商品の公定価格である保険償還価格の引き下げが実施された影響を受けました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、142億1千7百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

各品目別の販売状況はつぎのとおりです。

<品目別売上高>

（単位：百万円）

	第1四半期			第2四半期		
	当 期	前 期	増減率	当 期	前 期	増減率
リズムデバイス	2,146	2,710	△20.8%	2,335	2,358	△1.0%
EP/アブレーション	816	781	4.5%	843	774	8.9%
外科関連	953	976	△2.4%	820	930	△11.8%
インターベンション	601	604	△0.4%	599	592	1.3%
合 計	4,517	5,072	△10.9%	4,599	4,655	△1.2%

	第3四半期			第3四半期累計		
	当 期	前 期	増減率	当 期	前 期	増減率
リズムデバイス	2,627	2,853	△7.9%	7,108	7,921	△10.3%
EP/アブレーション	873	776	12.4%	2,533	2,332	8.6%
外科関連	913	1,005	△9.2%	2,687	2,912	△7.7%
インターベンション	685	682	0.4%	1,887	1,879	0.4%
合 計	5,099	5,318	△4.1%	14,217	15,047	△5.5%

■ リズムデバイス

心臓ペースメーカにおきましては、昨年9月に、小型・長寿命で新機能を搭載した新商品「リプライ」の販売を開始したことが寄与し、売上数量は前年同期を約10%上回る実績となりました。しかしながら、高い保険償還価格が設定されているICD（植込み型除細動器）やCRT-D（除細動機能付両心室ペースメーカ）においては前年同期の実績を下回りました。

以上の結果、リズムデバイスの当第3四半期累計期間の売上高は71億8百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

■ EP/アブレーション

自社製造製品である、EP（電気生理用）カテーテルおよびアブレーションカテーテルともに、前期より引き続き好調な売上を維持しております。特に、EP（電気生理用）カテーテルにおきましては、製品ラインナップの充実や堅調なOEM販売も寄与し、売上数量において前年同期比20%超の伸長率となりました。

以上の結果、E P / アブレーションの当第3四半期累計期間の売上高は25億3千3百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

■外科関連

人工血管におきましては、売上数量は増加いたしました。一方、人工肺におきましては、仕入先メーカーを変更いたしましたものの、新しい取扱商品の市場への導入が当初計画通りに進捗しなかったことから、売上高は前年同期を大きく下回りました。

以上の結果、外科関連の当第3四半期累計期間の売上高は26億8千7百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

■インターベンション

オンリーワン商品であり、症例数が増加している心房中隔欠損閉鎖器具や、特長的な商品として市場における認知度が高まってきている血管内異物除去用カテーテルが好調に推移する一方、ガイドワイヤーやバルーンカテーテルにおきましては、競合状況が厳しいなか、保険償還価格引き下げによる単価の下落もあり、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、インターベンションの当第3四半期累計期間の売上高は18億8千7百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

(2) 損益について

①営業利益

売上高は保険償還価格引き下げの影響等により前年同期を下回りましたが、リズムデバイスにおけるエラ・メディカル社製品の売上高構成比率が高まり、また、心臓ペースメーカにおいて収益性の高い新商品が発売されたことも寄与し、売上高総利益率は前年同期に比べ3.9%改善いたしました。しかしながら、販売費及び一般管理費の増加分を吸収することができず、当第3四半期累計期間の営業利益は、2億7千6百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

②経常利益

為替差益等を営業外収益として3億2千1百万円計上する一方、支払利息等を営業外費用として5千万円計上したことから、当第3四半期累計期間の経常利益は、5億4千8百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

③四半期純利益

投資有価証券売却益等を特別利益として9百万円計上する一方、投資有価証券評価損等を特別損失として1億8百万円計上したことから、当第3四半期累計期間の四半期純利益は、1億5千6百万円（前年同期比62.0%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

①資産

当四半期会計期間の資産につきましては、流動資産が前事業年度末に比べ10億8千8百万円減少し、168億7百万円となりました。これは主として商品が26億4千万円減少した一方で、現金及び預金が17億2千8百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は前事業年度末に比べ1億1千3百万円減少し、38億1千2百万円となりました。これは主として長期前払費用が3億2千1百万円減少した一方で、投資有価証券が4千7百万円増加したことによるものであります。

②負債

当四半期会計期間の負債につきましては、流動負債が前事業年度末に比べ9億2千3百万円減少し、44億2千6百万円となりました。これは主として短期借入金の返済による減少が6億5千万円あったことによるものです。

また、固定負債は前事業年度末に比べ1億6千万円減少し、23億4千万円となりました。これは主として長期未払金が3億2千2百万円減少したことによるものであります。

③純資産

当四半期会計期間の純資産につきましては、前事業年度末に比べ1億1千8百万円減少し、138億5千3百万円となりました。これは主として剰余金の配当を2億7千万円実施したこと、及び、四半期純利益を1億5千6百万円計上したことによるものであります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は前事業年度末に比べ17億2千9百万円増加し、45億9千3百万円となりました。

当四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその増減要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ、39億8千2百万円増加し、27億8千8百万円の収入となりました。これは主としてたな卸資産の増減による収入が25億5千3百万円と前年同期に比べ36億3百万円の収入増加となったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ、6億4千8百万円支出が減少し、1億2千7百万円の支出となりました。これは主として短期貸付金の実行による支出が5億円減少したこと、及び、投資有価証券の取得による支出が6億6百万円減少したこと、並びに、保険積立金の解約収入が4億7千万円減少したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ、21億2千6百万円支出が増加し、9億3千万円の支出となりました。これは主として短期借入による収入が16億5千万円減少したこと、及び、短期借入金の返済による支出が6億5千万円増加したことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年10月31日に開示いたしました業績予想数値から変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については、移動平均法による原価法から移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

(3) 追加情報

①有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を4～12年としておりましたが、当第1四半期会計期間より4～7年に変更いたしました。この変更は、税制改正を契機として、技術進歩による使用可能期間の短縮化を耐用年数に反映させるためのものであります。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ8百万円減少しております。

5. 【四半期財務諸表】
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,162,262	2,433,655
受取手形及び売掛金	6,095,176	5,856,102
有価証券	431,407	430,074
商品	3,883,819	6,524,079
製品	602,072	597,771
原材料	289,286	228,980
仕掛品	380,010	336,100
その他	963,897	1,489,654
貸倒引当金	△600	△600
流動資産合計	16,807,333	17,895,818
固定資産		
有形固定資産	505,612	541,836
無形固定資産		
のれん	27,001	32,524
その他	19,708	19,708
無形固定資産合計	46,709	52,232
投資その他の資産		
その他	3,265,684	3,337,581
貸倒引当金	△5,452	△5,152
投資その他の資産合計	3,260,232	3,332,428
固定資産合計	3,812,554	3,926,498
資産合計	20,619,887	21,822,316
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,424,245	1,792,717
短期借入金	1,800,000	2,450,000
未払法人税等	106,518	22,101
賞与引当金	267,592	—
その他	827,876	1,084,528
流動負債合計	4,426,233	5,349,348
固定負債		
長期末払金	827,754	1,149,924
退職給付引当金	1,020,068	941,091
役員退職慰労引当金	409,927	400,900
その他	82,674	9,324
固定負債合計	2,340,425	2,501,239
負債合計	6,766,659	7,850,588

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,241	2,115,241
資本剰余金	2,328,128	2,328,128
利益剰余金	9,769,032	9,883,130
自己株式	△351,374	△340,772
株主資本合計	13,861,028	13,985,728
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,800	△13,999
評価・換算差額等合計	△7,800	△13,999
純資産合計	13,853,228	13,971,728
負債純資産合計	20,619,887	21,822,316

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	14,217,195
売上原価	7,161,033
売上総利益	7,056,161
販売費及び一般管理費	6,779,365
営業利益	276,796
営業外収益	
受取利息	7,228
受取配当金	5,288
為替差益	253,727
デリバティブ評価益	2,410
その他	53,207
営業外収益合計	321,862
営業外費用	
支払利息	23,021
その他	27,548
営業外費用合計	50,570
経常利益	548,088
特別利益	
固定資産売却益	3,024
投資有価証券売却益	4,099
役員退職慰労引当金戻入額	2,261
特別利益合計	9,384
特別損失	
固定資産除却損	3,944
固定資産売却損	1,834
投資有価証券評価損	85,204
投資有価証券売却損	15,325
匿名組合投資損失	1,975
特別損失合計	108,284
税引前四半期純利益	449,188
法人税、住民税及び事業税	124,192
法人税等調整額	168,564
法人税等合計	292,757
四半期純利益	156,430

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	5,099,798
売上原価	2,333,736
売上総利益	2,766,062
販売費及び一般管理費	2,323,428
営業利益	442,633
営業外収益	
受取利息	653
受取配当金	1,173
為替差益	190,196
その他	13,504
営業外収益合計	205,527
営業外費用	
支払利息	7,656
デリバティブ評価損	15,610
その他	23,669
営業外費用合計	46,936
経常利益	601,225
特別損失	
固定資産除却損	463
固定資産売却損	645
投資有価証券評価損	65,833
投資有価証券売却損	5,794
匿名組合投資損失	648
特別損失合計	73,385
税引前四半期純利益	527,839
法人税、住民税及び事業税	99,577
法人税等調整額	165,145
法人税等合計	264,723
四半期純利益	263,116

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	449,188
減価償却費	177,722
その他の償却額	324,110
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	267,592
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	78,977
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,027
受取利息及び受取配当金	△12,517
支払利息	23,021
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2,755
デリバティブ評価損益 (△は益)	△2,410
投資有価証券評価損益 (△は益)	85,204
投資有価証券売却損益 (△は益)	11,225
売上債権の増減額 (△は増加)	△239,073
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,553,399
仕入債務の増減額 (△は減少)	△368,472
未払消費税等の増減額 (△は減少)	195,352
未払費用の増減額 (△は減少)	△552,937
その他	△172,437
小計	2,830,030
利息及び配当金の受取額	12,501
利息の支払額	△20,880
法人税等の支払額	△33,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,788,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△157,183
有形固定資産の売却による収入	11,629
投資有価証券の取得による支出	△286,283
投資有価証券の売却による収入	142,548
貸付けによる支出	△22,400
貸付金の回収による収入	22,213
長期前払費用の取得による支出	△5,259
その他の支出	△9,392
その他の収入	176,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△650,000
自己株式の取得による支出	△10,601
配当金の支払額	△269,901
財務活動によるキャッシュ・フロー	△930,503
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,729,940

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

現金及び現金同等物の期首残高	2,863,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,593,669

当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い、四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項なし

(6) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

(単位：千円)

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	比較増減	
	金額	金額	金額	増減率
EP/アブレーションカテーテル類	988,160	892,546	95,614	10.7%
その他	228,274	228,125	148	0.1%
合 計	1,216,434	1,120,671	95,763	8.5%

②受注状況

当社の事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しました。

③販売状況

販売状況につきましては、2ページの【定性的情報・財務諸表】の1. 経営成績に関する定性的情報に記載のとおりであります。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区 分	金 額 (千円)
I 売上高	15,047,025
II 売上原価	8,164,381
売上総利益	6,882,644
III 販売費及び一般管理費	6,407,682
営業利益	474,961
IV 営業外収益	258,673
V 営業外費用	46,708
経常利益	686,926
VI 特別利益	91,404
VII 特別損失	55,287
税引前四半期(当期)純利益	723,043
税金費用	311,380
四半期純利益	411,663

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前四半期累計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)
区 分	金 額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	723,043
減価償却費	138,227
その他の償却費	197,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 8,635
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 38,920
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	88,339
役員退職慰労金引当金の増減額(△は減少)	20,580
受取利息及び受取配当金	△ 15,219
受取保険金及び配当金	△ 225,373
支払利息	20,857
固定資産売却、処分損益 (△は益)	12,308
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,731
投資有価証券売却損益 (△は益)	△ 38,512
売上債権の増減額 (△は増加)	158,466
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 1,050,072
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 469,997
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 76,885
その他	△ 270,279
小計	△ 822,641
利息及び配当金の受取額	18,552
利息の支払額	△ 26,136
法人税等の支払額	△ 363,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,193,981
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
短期貸付金の実行による支出	△ 500,000
有形固定資産の取得による支出	△ 215,129
有形固定資産の売却による収入	212,535
投資有価証券の取得による支出	△ 892,673
投資有価証券の売却による収入	245,993
関係会社株式の取得による支出	△ 36,000
長期貸付金実行による支出	△ 20,600
長期貸付金回収による収入	37,899
長期前払費用の支出	△ 6,383
保険積立金の減少による収入	470,430
その他の支出	△ 155,648
その他の収入	83,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 775,730
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	1,650,000
長期借入金の返済による支出	△ 168,191
自己株式の取得による支出	△ 14,841
配当金の支払額	△ 271,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,195,530
IV 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 774,182
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,540,999
VI 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	43,525
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,810,342